

経営比較分析表（令和4年度決算）

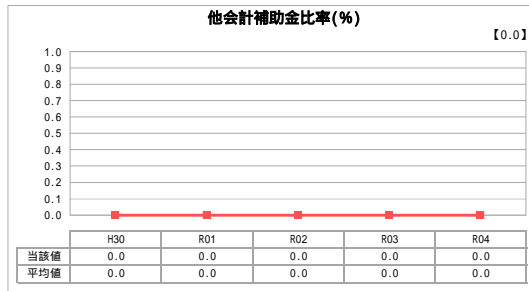
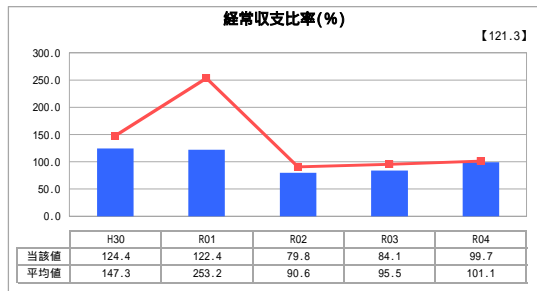
兵庫県洲本市 洲本インターチェンジ駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.3	届出駐車場 其他駐車場	広場式	11	

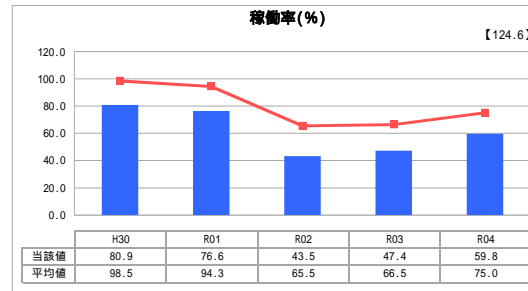
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	2,624
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
209	300	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
● 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

令和3年度決算と比較すると経営状況は改善傾向にあり、経常収支比率は99.7%まで回復した。しかし、経常収支比率の基準となる100%を僅かに下回っていることから、引き続き事業収益の増加と事業費用の圧縮に向けた取組を行いながら、経常収支比率の改善を図る必要がある。

2. 資産等の状況について

当駐車場は駐車場利用者用のトイレを有している。有形固定資産減価償却率は50%程度となっており、精算機やその附帯設備、駐車場利用者トイレの将来的な改修等を検討していく必要がある。

3. 利用の状況について

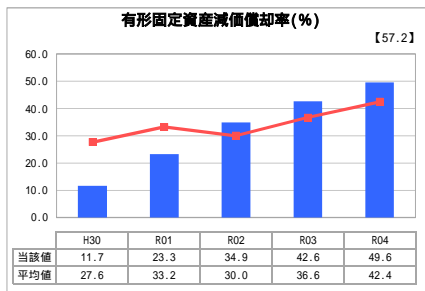
令和3年度決算と比較すると稼働率は12.4ポイント増加した。これは新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、島外への通勤、通学又は観光、レジャーの利用者が徐々に戻ってきている結果と推測される。

当駐車場は市街地から離れた郊外に立地しているものの、周辺にはファミリー層が多く居住するまとまった住宅地がある。また、島外への路線を有する高速バスの停留所が併設されていることから、島外への買い物、レジャー、通勤、通学のための利用者が多くを占めている。

全体総括

当駐車場は島外への買い物、レジャー、通勤、通学のための利用が多く、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことにより、利用者が回復傾向にあった。今後も安定した経営を図るため、利用拡大につながるサービスを検討するとともに、歳出抑制の対策に取り組んでいく。

2. 資産等の状況



敷地の地価(千円)
10
設備投資見込額(千円)
1,000

